

2つのパーキングエリアの整備と本線の舗装修繕

本工事は、関越自動車道 練馬IC～本庄児玉IC、圏央道 あきる野IC～川島IC間の本線補修工事、三芳PA下り線のバリアフリー化と歩道改修、および寄居スマートIC上り線の新設工事です。

関越自動車道 所沢管内舗装補修工事

【工事概要】
 〈発注者〉東日本高速道路株式会社 関東支社
 〈工期〉2019年3月5日～2021年12月18日



寄居PA スマートIC 上り線新設

土砂掘削 / 15,000m³
 アスファルト舗装 / 4,200m²
 用排水 / 1,000m²



三芳PA バリアフリー化

切削オーバーレイ / 20,000m²
 半たわみ舗装 / 10,000m²



高速道路本線の舗装補修

◎本線補修工事284,000m²
 切削オーバーレイ / 269,000m²

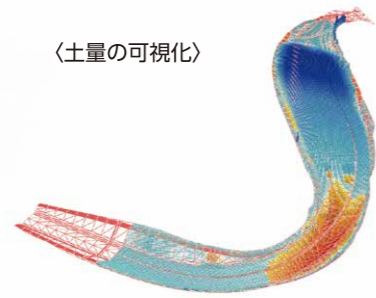
ICT土工

ドローンによる3次元測量(点群)の情報を元にバックホウなどのICT建設機械を制御し、3次元測量により出来形を管理します。

〈点群〉



〈土量の可視化〉



土工



舗装工事

半たわみ性舗装

空隙の大きなアスファルト混合物に特殊なセメントを浸透させて、アスファルト舗装のたわみにコンクリート舗装の剛性を加え、駐車場のわだちを発生しにくくしています。

セメントミルク



舗装工事



セメントミルク注入

現場の声



施工エリアはNEXCO東日本でトップクラスの交通量を誇る路線です。工期中はコロナウィルス蔓延による「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」の延期・開催など社会環境の変化で、交通量も大きく変動するなか施工しました。

施工は昼夜問わず4班体制としました。職員・協力会社一丸となり無事故無災害で完了させ、発注者からの要望に応えることができました。皆様も関越道三芳PA(下り)・寄居スマートICは我々の努力の結晶なので、是非ご利用ください。